

文化・芸術体験を通して城東地区を活性化する

つやま城東まちかつ。

活動の目的

町の活性化と観光的賑わい/開催による各店舗の繋がりの深まりと来場者とのコミュニケーションを図り城東への関心を強める。一方『重伝建』指定の城東地区を散策して頂く中で文化的、芸術的遺産への触れ合いと体験もして貰う。

活動の内容及び経過

秋の会議/春のイベントを決める。年明け/出店者要項を作成・募集。(主旨・参加費・会場運営等)。出展者プロフィール、作品写真、その他詳細を順次フェイスブックで紹介。展示・販売・ワークショップ/県北の各界で活動中、活躍中の作家さん達と共に展示、販売、ワークショップと手仕事体験をして貰いながら食事や珈琲を楽しんで、ゆったりした時間を過ごせる。出展目印の作成/新しく『さくら色』暖簾を作り会場軒先にして貰う。希望により販売かレンタルとし収入の一部にした。旧出雲街道沿いの店舗、施設、個人宅など事前交渉に半年を掛けて作家さんとのペアリングを進めた。前回は参考に進めた。新たなロケーションも取り入れて『津山洋学資料館』入口通路の柱との間5ヶ所に地元保育園児と子供会、老人会の協力のもと200枚の『むりえ』を展示した。また、津中生徒の課題『津山のパンフレット』作品を『作州城東屋敷』に一括展示をして保護者の方々のお越しを促した。駐車場の事前確保もイベント成功への一助と考え近隣店舗、公民館、広い空き地等々交渉を重ね、作家さん分20台、来客用に約200台をキープ出来た。交渉の中で新たな出店者が増えたり、イベントへの関心も深まり来訪者の増加にも繋がったように思う。

活動の成果・効果

会場(店舗・古民家・個人宅)27ヶ所。参加の作家38名/2日間で約3,000名の来場をいただき、手仕事体験者85名を数え、来場者との交流もより多くイベントの定着を望まれた。市内で開催中のイベント『さくらまつり』『津山ひな巡り』『つやま城東きもの歩き』との競演を考えお城山にもチラシ配布を試みるものの花見には勝てず、思ったほど人の流れ込みは無かった。ポスター150枚、チラシ12,000枚(9,000枚は新聞折込)の作成/作家さんを含め会員で関係各所に掲示、配布に努めた。



今後の課題と問題点

地元住民の受け入れと参加増/イベントの浸透を図り、意識改革を進めることまでは不十分だった。人気店、人気ワークショップに多くの人が長蛇となり道路一杯となる場所が数ヶ所出来て、車やバスとのトラブルへと繋がりがけた。食べ歩きも増え若干の輦轡を買った。ゴミ箱の設置、休憩場所の確保等々反省会での話題となったが、ゴミの後処理に掛かる費用、人手を考え、敢て我々は、設置していないこと、休憩場所も敢て作らないことも併せて案内。今後も出る話題で対策が必要の自覚をした。スタッフ(ボランティアを含む)不足を今回も痛切に感じた。

- 代表者：藤田文子 ●所在地：津山市西新町
- TEL：0868-22-8845
- 設立年：2016年 ●メンバー数：23名